

# 壁かけTV量産

## 富士通、600億円投資

富士通は世界で初めて壁掛けテレビの量産化に乗り出す。九六年中に、宮崎県に42形(約一辺)のカラープラズマディスプレイパネル(PDP)の工場を開設する。総投資額は半導体や液晶の投資にほぼ匹敵する約六百億円となる模様。PDPはわずか五、六形分の厚さで高精細な大画面を映し出せ、テレビやパソコンを駆使するマルチメディア時代の大型映像表示装置として期待される。九七年から始まるハイビジョン放送の主力表示装置としてまず製品化する。富士通の量産化を機に、PDPが大型ハイテク商品に発展、電機情報産業の国内空洞化を防ぐ有力商品となる可能性が高い。(カラープラズマディスプレイパネルは「さようのか」とは参照)

解説13面に

PDPの量産工場は富士通の子会社である九州富士通エレクトロニクス(鹿児島県入来町、宮田源社長)の宮崎工場(宮崎県国富町)につくる。同工場のメモリーなどの組み立て生産設備を海外に移し、空いたスペースを活用する計画だ。まず生産するのはハイビジョンに対応した画面縦横比が十六対九の42形カラーPDP。投資額には土地代は含んでおらず、年内にもグリーンルームなどの整備に着手し、九六年中に月間二万台程度で生産を開始する。九七年以降には月間十万台まで増産する計画だ。

ハイビジョンにも適している。電機メーカー各社は、大画面液晶表示装置(LCD)やプラズマ表示装置としてPDPのほか、液晶表示装置(LCD)やプラズマ表示装置としてPDPのほか、置の開発を競っている。ブラウン管を生産していない富士通は、PDPに開発の的を絞る戦略で、すでに21形製品で販売実績を積み、42形のカラーPDPの試作も完了。世界に先駆け同製品を量産化することにした。大型表示装置は将来、ホームシアターやパソコン通信、テレビ電話など、家庭内のマルチメディア表示装置として広範な用途が期待されている。しかし、家庭内マルチメディア市場が立ち上がるにはまだ時間がかかるため、富士通はまず、ハイビジョン市場をねらう。電機業界とNHKは昨年十月に「PDP共同開発協議会」を設

# 42型のプラズマ方式 来年に新工場

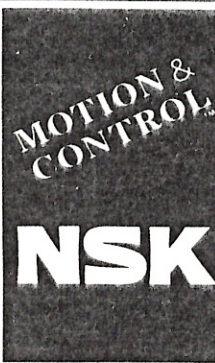
ン管を生産していない富士通は、PDPに開発の的を絞る戦略で、すでに21形製品で販売実績を積み、42形のカラーPDPの試作も完了。世界に先駆け同製品を量産化することにした。大型表示装置は将来、ホームシアターやパソコン通信、テレビ電話など、家庭内のマルチメディア表示装置として広範な用途が期待されている。しかし、家庭内マルチメディア市場が立ち上がるにはまだ時間がかかるため、富士通はまず、ハイビジョン市場をねらう。電機業界とNHKは昨年十月に「PDP共同開発協議会」を設

置、ハイビジョン向けに促そうとしている。カラーPDPは、三菱電機を販売、NECも同製品を開発。韓国の大宇ケルなども製品化を急いでいる。点では20形パネルでも上回るが、富士通は量産の立脚価格で百万円。将来的には現在の大型プラズマとほぼ同等の四十万円で引き下げることを目標としている。電機業界では、工場の建設で八百億、一億六千億円の投資が必要とされている。

# 日本経済新聞

発行所 日本経済新聞社  
 東京本社 〒100 66-033270 0251  
 東京都千代田区大手町1-9-5  
 振替口座 00130-7-555番  
 大阪本社 〒540 06943/111  
 大阪府中央区大手前1-1-1  
 振替口座 00920-1-73217番  
 名古屋支社 〒460 0523222561  
 名古屋市中区正木2-3-1  
 振替口座 00830-6-6149番  
 西部支社 〒812 0924733300  
 福岡市博多区博多駅東2-16-1  
 振替口座 01710-1-1248番  
 札幌支社 〒060 0112813211  
 札幌市中央区北1条西7-3

©日本経済新聞社 1995



### 日本精工

軸受、自動車関連部品、精密機器関連部品、電子応用製品